

まるごとタイを感じよう

Feb.15 2015 am10:00～12:00 中央公民館第7, 6 研修室

司会・進行: 佐久間さん

主催者あいさつ: (市) 杉山主事

(コーディネーター会): 青山 2G SGL



浅見講師のプロフィール紹介: タイ民族衣装の足立さん





たかみ
講師の浅見能美 氏



誕生日の曜日は何色？ 挨拶のお辞儀の仕方から始まり、自己紹介の仕方、曜日毎に色と仏像が異なるという話となり、ワークシートに曜日にこれと思う色を張り付けていただく。

日曜：赤、月曜：黄色、火曜：桃色、水曜：緑
木曜：オレンジ、金曜：青、土曜：紫

ちなみに浅見先生は土曜日で紫とのこと
先生の紫の衣装を装ったコーディネーター会員小林さん





講義風景



“まるごとタイを感じる”のは、「群盲像を評す・撫でる」に見られるように難しい作業。

時間軸・空間軸の両方にわたり、知識・情報・体験による理解を統合的に進める事が大切という。



ASEAN 共同体
の国々の白地図
に国名を記入す
るワークシート
作業

C フビた東のシマ、ミタラカベ
(吹雪いた東の島、見たら壁)

1	フィリピン	あ
2	ブルネイ	あ
3	インドネシア	い
(4)	東チモール	い
5	シンガポール	し
6	マレーシア	ま
7	ミャンマー	み
8	タイ	た
9	ラオス	ら
10	カンボジア	か
11	ベトナム	べ

ASEAN共同体

「フビた東のシ
マ、ミタラカベ」
ASEAN 共同体の
国々を覚えるコツ
を伝授

国旗: 国民、仏教、王室



国旗も三色旗:

赤は国民、紺は王室、白はこれらを繋ぐ仏教という。

国名

タイ語: ประเทศไทย
(プラテート タイ)

日本語: タイ
英語: Thailand

つづり字が異なるタイには自由という意味があり、タイ人はよく”タイ (タイ人) はタイ (自由) でなければならない”と表現している。

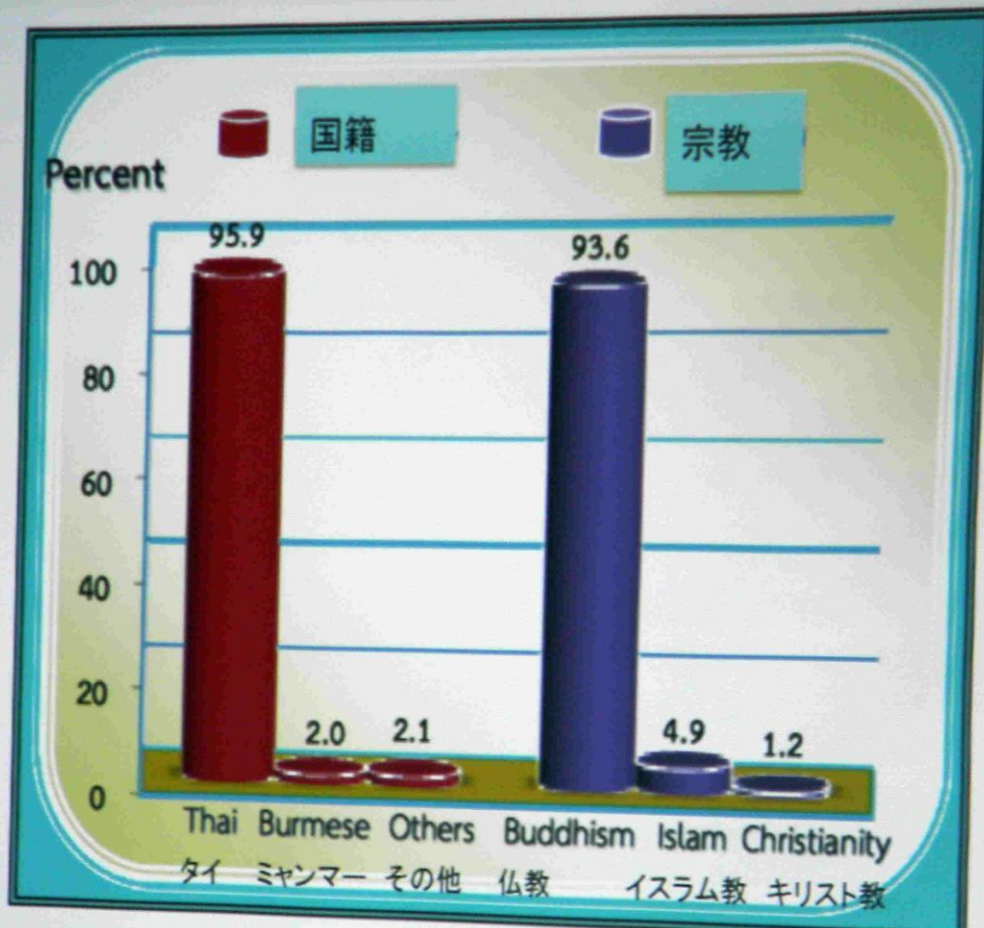
基本的に多民族国家であり、宗教も言語もいろいろの集合体である。

民族

タイ族 95% その他 5%



国籍と宗教(2010年タイ国勢調査)



多民族の“共生”が必須である。

情報網の世界への拡大と共に、
国境を越えてのインターナショナルからさらに広がって地球規模のグローバルへ

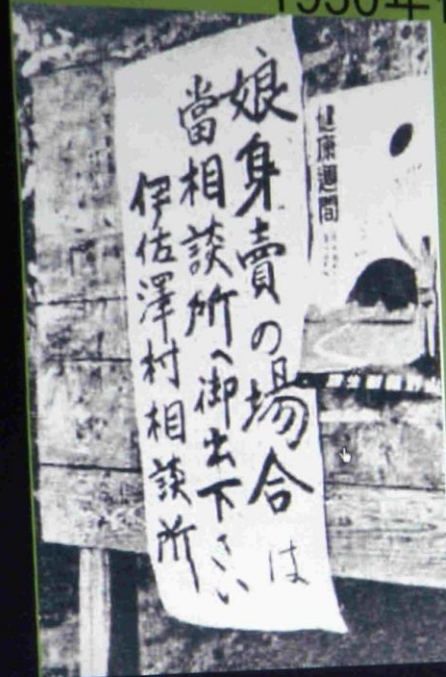
ボーダーレスの方向へ

International
インターナショナル



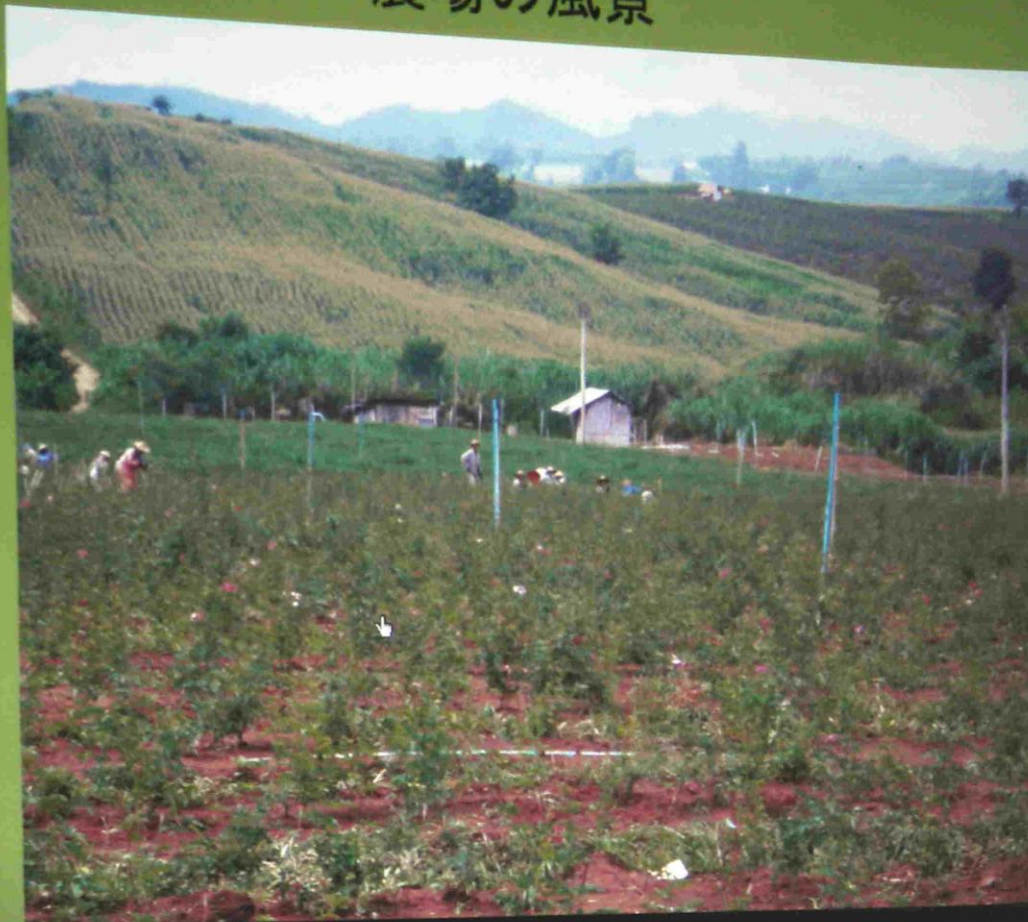
Global
グローバル

1930年代の日本



日本との歴史的関係では、アユタヤ日本人町跡やからゆきさんがある。

農場の風景



2014年2月24日
バンコクポスト新聞:

7歳のカレン人少女連れ
去り強制労働5年間



農場の風景は
のどかに見え
るが、現実の
労働は暑さの
為過酷である。
賃金も安い。

悲しいニュー
スも後をたた
ない。

タムブンという概念

タイのテレビCM

タムブンは寺への寄進を意味するが、街を挙げての一大イベントで、出店でおいしいものを安くたべることもできる。タムブンなしにタイは語れない。



質問にお答えします。



掲示もきれいなポスターや子供の絵がもりだくさん。



講師の浅見さんと10期生およびスタッフの記念写真